



コース14 信長・秀吉の歩いた いにしへの路を歩く

古建築愛好家必見の
古いまちなみ!



歴史が好きな人なら
どんな人でもOK!



※ 津島神社
疫病厄難除けで
知られる
全国天王総本社

※ 本町筋
古い町並みの残る通り
津島の旧市街地を構成

※ 天王川公園
天王祭や藤まつりの
舞台である憩いの公園

- スタート ↓940m
 - ① 不動院 ↓80m
 - ② 雲居寺 ↓250m
 - ③ 市神社 ↓90m
 - ④ 道標 (清正公社) ↓15m
 - ⑤ 糶屋 ↓90m
 - ⑥ 上切の井戸 ↓30m
 - ⑦ 堤下神社 ↓30m
 - ⑧ 商家 ↓30m
 - ⑨ いきいきサロン ↓55m
 - ⑩ 道標 (津島神社参宮道) ↓65m
 - ⑪ 茶の間 ↓50m
 - ⑫ 坂口町の井戸 ↓120m
 - ⑬ 商家 ↓80m
 - ⑭ ヨネ・グチ生家 ↓480m
 - ⑮ 観音寺 ↓230m
 - ゴール
- 全長約 2605 m

津島の旧市街地を南北に走る本町筋は、天王川の働きによる自然堤防であり、堤の上に町並みが形成されました。それは、今でも尾張津島天王祭に舟を出す「津島五ヶ村」として受け継がれています。本町筋・本町通り・津島上街道・津島下街道・巡見街道など様々な名を持つこの道は、室町時代ごろから姿を変えていない“まち”であり“みち”です。歴史あるこの道は多くの人々が行き交い、特にこの土地ゆかりの戦国武将織田信長、豊臣秀吉、加藤清正も通った出世街道とも言えるでしょう。あなたもこの道を歩いて、戦国時代にタイムスリップしてみませんか!?

※商家・町家の多くは個人宅かつ非公開です。マナーを守って小路めぐりを楽しみましょう。

作成：小路めぐりマップ策定部
恒川一三 佐藤正幸
耕井敏子 長谷川祐子
大橋忠彦 岩崎勝明
橋本建夫 服部祥平

13 屋根神様



本町筋にある町家の上にある屋根神様です。扉付きの小屋の中に屋根神様が収納されています。

1 不動院



戦国時代に織田信定が連歌師宗長を接待した正覚院は現在の不動院のこと。織田家の迎賓館の役目を果たしていました。

2 雲居寺



織田信長の家臣で桶狭間の合戦で活躍した服部小平太（一忠）ゆかりの寺です。

3 市神社



市神社はかつての街道沿いにあり、商売繁盛や豊作にご利益があります。手水鉢には津島出身で初の県会議員を務めた矢野俊蔵氏の名前があります。

4 道標 (清正公社)



戦国武将加藤清正ゆかりの清正公社を示す道標です。清正の家紋蛇の目模様が刻まれています。

5 糶屋



観光交流センターのあるこのあたりは古い町並みが残っています。糶屋は甘酒の素などを売っています。【定休日】日曜日・祝日

6 上切の井戸



上切と呼ばれた地域（現在の本町1丁目辺り）にある共同井戸でした。今も水が湧いていますが飲むことはできません。打ち水やかつては祭支度にも利用されました。

7 堤下神社



かつて津島のまちと津島神社（津島天王社）との間には天王川が流れており、ここから対岸の天王社をお参りました。

8 商家



このあたりは尾張津島天王祭の津島五ヶ村のうち「堤下車」を出す地域です。まちの景観の核となる商家が並びます。

9 いきいきサロン



かつては「カネ長」という川魚屋がありました。野菜や小物などを販売する交流の場となっています。【定休日】月～木曜日

10 道標 (津島神社参宮道)



津島神社参宮道を示す石碑です。ここを基点に津島街道は上下に分岐します。指差す手の形で方向を示す珍しい道標です。

11 Season Café 茶の間



風格ある貴人門の奥に毎月1～7日、藤まつり・天王祭など行事期間に営業する隠れ家的なカフェがあります。

12 坂口町の井戸



坂口町と呼ばれた地域（現在の本町3丁目辺り）にある共同井戸でした。

14 長珍酒造



本町三丁目にあるまちの酒蔵です。ここでお酒の販売や酒造見学はしていません。格子が美しい町家建築です。

15 商家



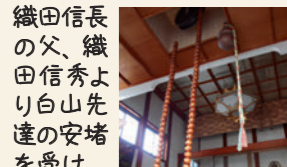
本町筋にある町家の一つ。現在「三養荘」と呼ばれるこの家は肥料を商っていました。

16 ヨネ・グチ生家



明治8年に津島に生まれた詩人野口米次郎の生家です。慶應義塾大学に進学後渡米し、米英の詩壇に名を轟かせ「世界のヨネ・グチ」として知られました。

17 観音寺



織田信長の父、織田信秀より白山先達の安堵を受け、信長、信忠と織田三代の庇護を受けました。津島天王社（津島神社）の社僧坊として神仏習合の神宮寺を担っていました。